



水の事故を防ぐために



水遊びをする方へ

●監視体制や救助体制が整った場所で泳ぐ

海水浴場以外の場所は、急に深くなっていたり、潮の流れが速いところなど危険な場所がありますので監視員のいる海水浴場で泳ぐようにしましょう。



●保護者は子どもから目を離さない

子どもを泳がせる場合は、ライフジャケット等を着用させ、子どもから目を離さないようにしましょう。



●泳ぐことが得意でも油断しない

海や川は危険な場所があるほか、高波にのまれるなど不測の事態に見舞われることもあります。決して油断しないようにしましょう。



●土用波に注意

8月になると土用波が立ちます。海水浴場が閉まった海に入らないようにしましょう。

●川の急流に注意

おだやかな流れに見えても、川の中の苔やぬめりで足をとられたり、深みや急流があるので注意しましょう。



●体調が悪いときやお酒を飲んだときは海や川などには入らない

体調が悪いときやお酒を飲んだときに海や川などに入ると、身体機能のマヒや低下などにより溺れるおそれがあるので海や川などには入らないようにしましょう。



●離岸流に注意

海岸では離岸流という沖に向かう強い潮の流れが至る所で発生します。万が一、沖に流されそうになったときは、岸に戻ろうとせず、岸と平行に泳ぐと離岸流から抜け出しやすくなります。

サーフィン、水上オートバイなどのレジャースポーツをする方へ

●ルールやマナーを守る

サーフィン・ウィンドサーフィン・水上オートバイ等を楽しむ方は、ルールやマナーを守り周辺の方に迷惑をかけないようにしましょう。



●気象情報を確認し、天候に注意する

気象情報を確認し、波が荒いときや雷鳴を聞いたりしたときは、高波にのまれたり、落雷の可能性があるので十分注意しましょう。



●安全の確保に努める

器具の安全点検を行い、ライフジャケットが必要な場合は必ず着装し、安全な場所で楽しみましょう。



危険！ヘッドランド

ヘッドランドは海岸の浸食を防ぐことを目的に建設されたものであり、周辺は、水深が急に深くなったり、離岸流が多く発生する大変危険な場所です。ヘッドランド周辺では絶対に泳がないでください。なお、ヘッドランドは大洗町に3基、銚田市に15基、鹿嶋市に11基、神栖市に5基設置されています。



サメなどの海生動物に注意する！

サメの出現や目撃情報を知ったら、安全が確認されるまで海に入らないようにしましょう。



事件発生

→ すぐ通報!



茨城県警察本部